

# 学校評価を前提とした学校ホームページの情報提供方策

The reporting policy of the school homepage assuming the school evaluation

中島 進\*

Susumu Nakashima\*

豊福 晋平\*\*

Shimpei Toyofuku\*\*

伊万里市立黒川小学校\*

Imari municipal institution Kurogawa elementary school \*

国際大学\*\*

International University of Japan\*\*

〈あらまし〉 関係者の学校評価を実施する上では、評価精度を向上させるため、分かりやすい情報提供が求められている。本研究では、学校ホームページを用いて学校評価のためのエビデンス情報を提供するため、評価項目に関連した活動記録情報をリンクさせたインタフェースを作成・提供した。

〈キーワード〉 学校教育 学校評価 情報提供 学校ホームページ ブログ 携帯サイト

## 1. 研究の背景

本研究では、学校ホームページを用いて学校評価のためのエビデンス情報を提供するため、評価項目に関連する活動記録情報をリンクさせたインタフェースを作成・提供した。

本研究の背景理由は次の3点である。

第1点目として、文部科学省（2007）は平成19年6月の学校教育法改正において、的確な学校評価実施を主たる目的として、学校教育法43条に積極的な学校情報の公開を規定した。また、平成20年1月に改定された学校評価ガイドライン（文部科学省2008）においても、積極的な情報提供の項目で、ホームページを活用した情報提供が示されている。

第2点目として、紙媒体による情報提供は、情報提供量が限られていることを除けば、保護者のみをターゲットとした場合には有効手段といえる。しかし、社会の価値観が多様化したことや学校が地域社会において果たす役割を考慮すれば、ホームページによる情報提供が有効となる。

第3点目として、関係者の学校評価を実施する上では、評価精度を向上させるため、分かりやすい情報提供が求められている。しかしながら、現状では評価を前提とした情報蓄積および情報提示の効果的な方法は

十分検討されているとは言い難い。

特に2点目、3点目についていえば、学校ホームページによる日常的な情報提供は徐々に盛んになりつつあるが、膨大で雑多な記事を再編集・再利用する機能は一部のBlogで実装されたばかりであり（豊福ほか2008）、これを学校評価のエビデンス資料として活用したケースは見られない。

## 2. 研究の実際

### 2.1. インタフェースの作成

そこで、本校では「hyper学校評価」というhtmlページを作成し、今年度の本校の学校評価項目とそれぞれの学校情報とをリンクさせている。保護者・地域の皆様および学校関係者評価委員に、学校評価をおこなう際に参考にしてもらうことで、評価の精度を高めることをねらいとしている。

また、ブログのコメントや問い合わせでも、随時意見・感想を受け付けるようにして、形成的な評価および評価の改善に対応できるようにしている。

項目とリンクしている活動記録情報は次のとおりである。

#### ①学校経営方針

- 学校紹介 MOVIE
- オープニング
- 笑顔と感動のスライドショー
- キャッチフレーズ
- 夢づくり

■誇りづくり ■なかまづくり

## ②授業参観・学校行事の充実

■地域情報 ■地域行事情報

■校長ブログ ■育友会

■くろブロ ■1年 ■2年

■3年 ■4年 ■5年 ■6年

## ③学校情報の公開

■学校概要 ■学校沿革 ■学校施設

■教育計画 ■学校評価 ■校長室

■校内研究 ■運営機構 ■育友会活動

■更新情報・お知らせ ■過去の更新

■お便り ■年間行事予定表

■週校時表 ■購買部価格表

## ④危機管理意識の向上

■災害対応計画 ■AED

■不審者避難訓練 ■誇り・生活習慣

## ⑤学力向上

■夢・学力 ■キッズブログ ■校内研究

■夢づくり ■夢ブログ ■夢・学習習慣

■夢・読書 ■図書室

## ⑥道徳教育・人権同和教育の充実

■なかまづくり ■いのち

■ふれあい道徳 ■ボランティア

## ⑦挨拶の定着

■誇りづくり ■誇り・生活習慣

## ⑧健康・体力づくり

■食育 ■ランチブログ

■ごはんだ〜い好き

## ⑨ふるさと学習

■誇りづくり ■オンリーワン事業

■5年オンリーワン活動（キッズブログ）

■キュウ太郎

## ⑩小学校低学年学習環境充実

■誇り・生活習慣 ■夢・学習習慣

■1年 ■2年

## ⑪家庭教育力の向上

■読書 ■ストップ・ザ・見放題&家読

## ⑫特色ある教育活動

■学校サポーター事業 ■漢字検定

■サンドアート ■オリジナルソング

## 2.2. ブログを活用した活動記録情報の提供

本研究以前では、本校は学校行事などの活動状況報告を通常のHTML文書で報告していたが、保護者・地域の人々が感想や意

見をコメントとして投稿できるよう無料の商用ブログ（goo ブログ）に切り替えた。これにより、各職員のパソコンからブラウザを使って記事投稿できるようにもなり、情報発信を分担することもできた。

本校では、管理人が学校のできごとや雑感などを発信する「くろブロ」、保護者・地域の方々や職員が話題を提供する「みんなのブログ」、おもに情報委員会や高学年の児童が学習のまとめや行事の感想などを発信する「キッズブログ」、給食のメニューや食に関する豆知識を掲載している「ランチブログ」の4ブログを開設している。

「くろブロ」以外は、情報発信の目的に応じたブログ・カテゴリーを設け、学校評価の項目に沿った学習活動の状況報告が可能になるように工夫している。保護者や地域からコメントによって、双方向コミュニケーションを図ることができている。

各ブログの運営状況は以下の通りである。

### ①教育方針や教育活動を伝えるブログ

#### 【くろブロ】

ホームページ管理者のみが投稿し、保護者や地域の方々からのコメントをいただいている。

平成18年度4月から始め投稿数は1,000を越え、1日150人程度の方に見ていただいている。

行事や掲示物、ちょっとした校内での出来事などをレポートし、最後に感想や意見を付け加えることで、学校の教育方針を具体化しながら伝えていくことをねらいとしている。

### ②みんなで作り上げるブログ

#### 【みんなのブログ】

保護者や地域の方々、ホームページ管理者以外の職員が投稿し、みんなで作るホームページの役割を果たしている。

保護者や地域の方々から投稿していただける方を募集し、学校ホームページ支援サポーターとして輪番で投稿をおこなっている。平成19年度4月に開設し、地域の方からいただいた投稿数は300を越え、1日160人程度の方に見ていただいている。

今年度から、学校経営方針に係わる諸教育活動を発信していくことを目的として 23 個のカテゴリーを設けた。そのことにより、学校の教育活動や家庭や近所の話題、地域の話題など、ホームページの内容に幅がでてきている。

### ③子どもたちがつくるブログ

#### 【キッズブログ】

子どもたちが投稿するブログとして、平成 18 年度末から始めた。情報委員会の投稿、高学年の理科や総合的な学習のレポートなどを投稿している。

今年度の教育テーマの 1 つである夢についての「夢ブログ」というカテゴリーを設け、全校児童の現在の夢を掲載している。短い作文を書く機会、ローマ字の習得の機会、発信する喜びを体験する機会としてとらえている。1 日 120 人程度の方に見ていただいている。

### ④食育についてのブログ

#### 【ランチブログ】

給食を紹介するブログとして昨年 8 月から始めた。ホームページ管理者と給食担当者が分担して投稿している。

当初は給食の紹介が主な目的だったが、給食担当者の食材に関するコメントが充実してきたので、食の豆知識コーナーとリンクさせて食育のデータとして利用している。

健康委員会の児童が、給食の楽しい様子をカメラに収めたものを毎日掲載している。1 日 100 人程度の方に見ていただいている。

## 2.3. 携帯サイトの開設とブログへのリンク

インターネット環境未接続の保護者・地域の方への配慮と、すべての保護者・地域の方が気軽に更新情報を得られるように、携帯サイトを開設した。

開設のきっかけは、保護者におこなった学校ホームページに対する意識調査の中で、「インターネット環境のない家庭への配慮は？」というご意見が数件寄せられたことにある。

携帯サイトを作ることで、インターネッ

ト環境のない家庭であっても日々の更新内容を見てもらうことが可能となり、また塾や社会体育の迎えの待ち時間を利用した閲覧も可能になった。開設にあたっては、携帯サイトの URL と QR コードを記載したプリントを配布し、全家庭が登録できるようにした。

現在、本校の携帯サイトで配信している内容は次の通りである。本校が使用しているパソコン用のブログサイトは携帯にも対応しているため、携帯サイトからのリンクで全記事を閲覧できるようになった。

- ・更新情報、お知らせ
- ・4つのブログ
- ・月行事予定（今月・次月）
- ・お問い合わせ  
(ホームページ担当者へのメール)

## 2.4. メール配信システムの活用

「はなまる連絡帳」というシステムのメール一斉配信機能を使って、メール登録者への「おすすめブログ記事」の紹介をおこなっている。

ワンクリックで活動記録情報を得ることができるため、配信した記事情報の閲覧数はそうでない記事に比べて明らかに多くなっている。メール登録している保護者の割合は 90%弱で、インターネット環境のある保護者の割合より 20%程度多い。メール配信を定期的におこなうことで、より多くの方により多くの情報を提供できている。

## 3. 保護者への意識調査

本校では、保護者を対象とした学校評価アンケートを毎年 1 月におこなっている。例年お願いはしているものの、保護者がアンケートを書くときの判断材料を、学校が十分に示しているかという疑問があった。

そこで、今年度から提供している「hyper 学校評価」に対する感想を併せ、2 項目についての意識調査を、平成 20 年 6 月に全保護者 (132 世帯) を対象としておこなった。75% の保護者から回答を回収し、次のような結果を得た。

#### A 昨年度までの学校評価アンケートを記入するにあたって

- ・子どもの話などを参考にしてアンケートに不自由なく答えることができた。42%
- ・判断材料が少ないので答えるのに苦労した。23%
- ・どちらとも言えない。35%

#### B 「hyper 学校評価」について

【 】内の数値はインターネット環境がある家庭の回答割合

- ・アンケートの判断材料として十分活用できる。27%【42%】
- ・アンケートの判断材料としてはもの足りない。4%【7%】
- ・学校での活動の様子はわかるが、アンケートの判断材料にはならない。9%【13%】
- ・どちらとも言えない。24%【38%】
- ・インターネット環境がないため見ることができない。36%

#### 4. 研究の成果

以上のような取り組みにより、経営方針・教育活動・情報発信・双方向コミュニケーションが一つにつながり、学校ホームページが学校経営戦略の一方策に高められたといえる。

これにより、教職員自らが日々おこなってきている教育活動を、確信を持って情報発信することができるようになった。

また、保護者への意識調査から携帯サイトの重要性が明らかとなり、サイトを開設することができた。このことにより、ほとんどの保護者が活動記録情報を見られるようになったことは、学校評価のための情報伝達手段として有効であるといえる。

#### 5. 今後の課題

本研究の保護者への意識調査アンケートでは、いずれも「どちらとも言えない」という回答が多かった。これは、保護者の中に学校評価や学校情報の提供の意義に対し

での理解不足が原因として考えられる。これには旧来の紙媒体による啓発に努めていく必要がある。

次に、学校評価のための情報を提供する学校ホームページであるためには、家庭のインターネット環境の有無による情報格差を最小限度にとどめるように配慮していかなければならない。インターネット環境のない家庭への配慮は、保護者への意識調査の備考欄にも数件あげられていたことである。

さらなる携帯サイトの充実と、学校評価に係わる重要な活動記録情報の積極的な紹介が必要となってくる。その際、配慮しなければならないことは、画像のサイズと枚数である。携帯電話の料金体系が定額契約でない場合、情報量が多いと携帯では見ない可能性が高くなってしまう。

さいごに、従来のカテゴリ・キーワード機能よりも優れた検索機能を持つCMS(Content Management System)の導入が必要となってくる。学校の教育活動はいろいろな要素が複合しており、現在のブログのカテゴリにリンクするやり方では、要素の組み合わせの数だけカテゴリを増やしていかなければならない。ホームページ担当者の負担を減らす意味でも、導入は必要である。

#### 参考文献

文部科学省(2007) 学校評価に関する学校教育法・学校教育法施行規則の規定

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakko-hyoka/08021216.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakko-hyoka/08021216.htm)

(参照日 2009年2月1日)

文部科学省(2008)「学校評価ガイドライン」の改定について

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/20/01/08012913.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/01/08012913.htm)

(参照日 2009年2月1日)

豊福晋平,柳瀬貴夫,小西克哉,堀田敦士,林禎久(2008) 学校サイトに適したハイブリッド型CMSの開発。

日本教育工学研究報告集 JSET08-1  
pp.227-232